# for Adobe Photoshop

## HDExpressLite 専用

## ユーザーズマニュアル



株式会社ビー・ユー・ジー

# もくじ

## 安全にお使いいただくために必ずお読みください

このマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本製品使用中での不具合または使用条件外での使用によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 本書中のマーク説明

| | |
|---|---|
|  | 本製品をお使いいただくうえで重要な事項が記載されています。 |
| MEMO | 操作の参考となる情報や、補足説明が記載されています。 |

### ■ 商標についてのお知らせ

HDExpressLite, HDExLiteAuto, HDExLiteDumper は、株式会社ビー・ユー・ジーの商標です。
Macintosh の名称およびロゴマークは、アップルコンピュータ社の商標です。
Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corpration の登録商標です。
Adobe, Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標です。
その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

## ご使用にあたってのお願い

- ご使用の際はマニュアルに従って正しく取り扱いください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、情報を消失したり、機会を逸するといった純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めになった代理店へお問い合わせください。
- このソフトウェアおよび仕様、外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

# 第 1 章　はじめに

## 1-1 概要

本製品は、Adobe Photoshop のレイヤー情報から生成された高品位な Fill/Key を、弊社製フレームメモリボード HDExpressLite から出力するプラグインです。Adobe Photoshop のテキスト・図形描画ツールなどで描画した画像を、そのまま HD-SDI で Fill/Key 出力することができます。Adobe Photoshop がレイヤー情報として保持している Fill/Key イメージをそのまま利用していますので、レイヤー効果なども Fill/Key にそのまま反映され、高品質なテロップをきわめて簡単に作成できます。

## 1-2 機能

- Adobe Photoshop のレイヤー情報から生成された高品位な Fill/Key を、HDExpressLite から出力します。
- レイヤーの自動更新機能は、使い方にあわせて ON/OFF を選択できます。
- レイヤー操作画面でのレイヤーの移動に連動して、出力映像もリアルタイムに変化しますので、出力映像を見ながらテロップの微妙な位置あわせを行なうことができます。
- 作成した画像と入力映像を HDExpressLite の機能を使用して合成し、出力することができます（セルフキー）。
- 8bit/ チャンネルの画像は SDI 8bit 出力となります。
- 16bit/ チャンネルの画像は SDI 10bit 出力となります。

1

## 1-3 使用環境（動作確認済み環境）

Macintosh

| 機種 | Mac Pro |
|---|---|
| OS | Mac OS X 10.5 Leopard |
| ソフトウェア | Adobe Photoshop CS3 |
| メモリボード | 弊社製ハイビジョンフレームメモリ HDExpressLite |

Windows

| 機種 | HP Workstation xw8600 |
|---|---|
| OS | OS Windows XP SP2 |
| ソフトウェア | Adobe Photoshop CS3 |
| メモリボード | 弊社製ハイビジョンフレームメモリ HDExpressLite |

## 1-4 動作が可能な Adobe Photoshop の設定項目

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 画像解像度 | 幅 90 ～ 1920pixel　高さ 60 ～ 1080pixel<br>（最大サイズは表示フォーマットの設定による） |
| カラーモード | RGB カラー |
| チャンネル | 8bit/ チャンネル、16bit/ チャンネル |

CMYKなど、RGB以外のカラーモードではプラグインの機能は使用できません。

32bit/チャンネルの画像に対してはプラグインの機能は使用できません。

## 1-5 製品構成



- ユーザーズマニュアル（本書）　1 冊
- ライセンス製品使用権許諾契約書　1 枚
- ライセンスキー申請手順書　1 枚
- CD-ROM　1 枚
  - ・PDF 版マニュアル
  - ・HDExLiteAuto プラグイン

    （HDExLiteAuto.plugin または HDExLiteAuto.8li）

    テロップ機能のメインプラグインです。
  - ・HDExLiteDumper プラグイン

    （HDExLiteDumper.plugin または HDExLiteDumper.8be)

    各操作のアクションを登録するためのプラグインです。

    ただし、アクション登録を行わない場合にもインストールが必要です。

# 第 2 章　インストール

## 2-1 インストール方法

**1.** 管理者権限のあるユーザでログオンしてください。管理者権限に関しては、ご利用のコンピュータに付属の取扱説明書などを参照してください。

**2.** 本製品を使用するためには、あらかじめ HDExpressLite 基本ソフトウェアのインストールを行う必要があります。
HDExpressLite 基本ソフトウェアのインストール手順については、「HDExpressLite/HD64PCI/HD64DX4 ユーザーズマニュアル 第 3 章 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

**3.** Adobe Photoshop が起動している場合は一旦終了します。

**4.** Adobe Photoshop の「プラグイン」フォルダに「HDExLiteAuto.plugin または HDExLiteAuto.8li」と「HDExLiteDumper.plugin または HDExLiteDumper.8be」をコピーします。

> **MEMO**
>
> Adobe Photoshopプラグインフォルダは以下の場所にあります。
> Macintoshの場合:
> (OSのディスク)/アプリケーション/Adobe Photoshop CS3/プラグイン
> Windowsの場合:
> (OSのディスク)\Program Files\Adobe\Adobe Photoshop CS3\プラグイン

**5.** Adobe Photoshop を起動します。

**6.**「Photoshop」メニューから「プラグインについて」を選択し、「HDExLiteAuto...」、「HDExLiteDumper...」の項目がリストに追加されていることを確認します。

## 2-2 HD64Control の設定

HD64Control は、HDExpressLite の設定用アプリケーションです。HDExpressLite 用ソフトウェアのインストーラによりインストールされます。
下記の項目は使用環境によって適切な値に設定してください。HD64Control の使用方法については、「HDExpressLite/HD64PCI/HD64DX4 ユーザーズマニュアル 第 4 章ソフトウェアの使用方法」を参照してください。

2

### ■ 基本設定

| 動作周波数 | 59.94Hz/60Hz を切り替えます。 |
|---|---|
| 表示フォーマット | 画像解像度と同一に設定します。 |
| カラーモード | 「一般モード」を選択してください。<br>ただし、スーパーホワイトレベル（デジタルの信号レベルで 16-235 の範囲を超える値）の出力を使用したい場合に限り、「高品質モード」を選択してください。「高品質モード」を選択した場合は、Adobe Photoshop 上で (R,G,B)=(235,235,235) の色が SDI 上では 100%ホワイトに、(R,G,B)=(16,16,16) の色が SDI 上でブラックになりますので、それを考慮に入れてデータを作成する必要があります。ご注意ください。 |
| Genlock | Genlock 機能を使用する場合は設定してください。 |

## 2-3 ライセンスキーの入力

プラグインをはじめて使用する場合には、ライセンスキーを入力する必要があります。正規のライセンスキーのかわりに、一時的に使用可能な一時キーを入力することもできますが、一時キーを使用した場合は、Adobe Photoshop を起動するたびに一時キーを入力しなおす必要があります。

**1.** Adobe Photoshop を起動すると、図 1 のようなプラグインダイアログが表示されます。
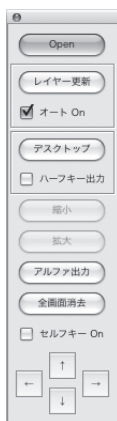
図 1　HDExLiteAuto ダイアログ図

**2.** Adobe Photoshop の「ファイル」メニューから、「新規 ...」もしくは「開く ...」を選択します。

**3.** 図 2 のようなライセンスキー入力ダイアログが表示されるので、ライセンスキーもしくはダイアログに表示される一時キーを入力し、OK ボタンをクリックします。

MEMO

一時キーはAdobe Photoshopを起動するたびに新たに生成されるため、毎回変わります。

重要

ライセンスキーは別紙「ライセンスキー申請の手順書」に従って取得したものを使用してください。

2

図２　ライセンスキー入力ダイアログ

**4.** 正しく入力されると、プラグインが使用可能になります。

重要

一時キーを使用する場合は、Adobe Photoshopを起動するたびにキーを入力する必要があります。

# 第３章　使用方法

プラグイン使用中は、HD64ControlやPhotoStageLiteHDを起動しないでください。もしそれらのアプリケーションを使用したい場合は、一度Adobe Photoshopを終了してください。



**MEMO**

HD64Control, PhotoStageLiteHDは、HDExpressLiteに付属のアプリケーションです。

Adobe Photoshop を起動すると、図３のようなプラグインダイアログが表示されます。
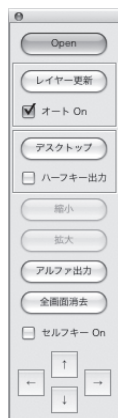
図３　HDExLiteAuto ダイアログ図（Close 時）

## 3-1 HDExLiteAuto

### ■ 各ボタン / チェックボックスの機能

▼ レイヤー操作画面

Open ボタンをクリックすると図４のようなレイヤー操作画面が開きます。レイヤー操作画面上でのマウスドラッグや、HDExLiteAuto ダイアログ上の上下左右ボタンを使ってレイヤーを移動することで、HDExpressLite の OUT1/OUT2 から出力される Fill/Key をリアルタイムに位置調整することができます。ただし、オート On のチェックボックスにチェックがついていない場合は、レイヤーを移動しただけでは出力映像は変化せず、レイヤー更新ボタンを押したときにはじめて出力映像が移動後の状態に変化します。

図４　HDExLiteAuto ダイアログ図（Open 時）

**MEMO**

操作するレイヤーは、Adobe Photoshopのレイヤーダイアログで選択してください。

3

▼ Open/Close

「Open」表記時にクリック

HDExLiteAutoダイアログにレイヤー操作画面を表示します(図4)。

「Close」表記時にクリック

レイヤー操作画面を閉じます（図 3)。

▼ レイヤー更新

現在のレイヤーの Fill/Key を出力します。

HDExpressLite の OUT1 に現在選択されているレイヤーの Fill を、OUT2 に同レイヤーの Key を出力します。

セルフキーが On の場合は、OUT1 にはレイヤーマスクをキーとした、レイヤーとソース映像との合成映像を出力します。

**MEMO**

テキストは入力直後にレイヤー更新をしても出力に更新しません。
入力後、一旦ツールボックスで別のツールを選択するか、
command ⌘ + Enter で入力を確定した時点で更新します。

▼ オート On

チェックをつけておくと、自動更新が有効になり、レイヤー操作画面上でのレイヤー移動に連動して自動で Fill/Key 出力が更新されます。また、Adobe Photoshop で画像を複数開いているときに編集対象の画像を切り替えたり、Adobe Photoshopのレイヤーパレットでレイヤーの可視状態を変更した場合にも自動で Fill/Key 出力が更新されます。

▼ デスクトップ

OUT1 にデスクトップを表示します。

▼ ハーフキー出力

チェックをつけておくと、「デスクトップ」ボタンをクリックしたときに、OUT2 からハーフキーが出力されます。

MEMO

「デスクトップ」と「ハーフキー出力」の便利な使い方
まず、あらかじめデスクトップにAdobe Photoshopの編集ウィンドウのコピーを100%表示で全画面表示で置いておきます。
この状態で、プラグインから「デスクトップ」ボタンを押すと、HDExpressLiteのOUT1にはAdobe Photoshopの編集画面が、OUT2に全面ハーフキーを出力します。これをスイッチャに入力して外部映像と合成すると、Adobe Photoshopの編集画面と外部映像とのハーフMIX映像を出力します。Adobe Photoshopのガイドラインなどを使用した微妙な位置調整や色あわせを、リアルタイムに映像を確認しながら行なうことができます。その後あらためて「レイヤー更新」ボタンを押すことで、合成用のFill/Key出力に切り替えることができます。
「デスクトップ」ボタンと「レイヤー更新」ボタンを駆使して、Adobe Photoshopの柔軟な調整機能と、プラグインによるFill/Key出力とを切り替えながら使用することで、より効率のよいテロップ作成が可能となります。

▼ 縮小

レイヤー操作画面を縮小表示します。

▼ 拡大

レイヤー操作画面を拡大表示します。

▼ アルファ出力

OUT1 に RGB チャンネルの映像、OUT2 にアルファチャンネルの映像を出力します。自分で作成したマスクを出力したい場合はこのボタンを使用してください。
なお、セルフキーが On の場合は、OUT1 には、アルファチャンネルをキーとしたレイヤーと入力映像との合成映像を出力します。

▼ 全画面消去

OUT1、OUT2 の映像を消去します。セルフキーが On の場合は、OUT1 には入力映像をスルー出力します。

▼ セルフキー On

チェックをつけておくと、HDExpressLite の IN 端子に入力された外部映像と、現在編集中の Fill/Key との合成映像が、OUT1 に出力します。

**MEMO**

外部入力と合成する場合は、HD64Controlの「基本設定ダイアログ」の「Genlock」を「入力映像にロック」または「リファレンスにロック」にしてください。なお、「リファレンスにロック」を使用する場合は、HDExpressLiteに外部同期信号（三値同期またはBlackBurst）を入力しておく必要があります。

重 要

プラグイン使用中は、HD64ControlやPhotoStageLiteHDを起動しないでください。もしそれらのアプリケーションを使用したい場合は、一度Adobe Photoshopを終了してください。

▼ 矢印

それぞれの矢印が指す方向にレイヤーを 1pixel（Shift キー同時押しで 10pixel）移動させます。移動するたびにレイヤーの Fill/Key を出力します（自動更新が有効の場合）。

**MEMO**

操作するレイヤーは、Adobe Photoshopのレイヤーダイアログで選択してください。

▼ ダイアログバー上の [ 閉じる ] ボタン

ダイアログを消去します。ダイアログが消去されていても、「オート On」にチェックがついている場合は自動更新が有効です。ダイアログの再表示は、Adobe Photoshop の「ファイル」メニューから「自動処理」→「HDExLiteAuto...」を選択します。

3

## ■ 設定の保存

Adobe Photoshop 終了時、「セルフキー On」の設定とダイアログの位置を保存します。次回起動時にはそれらの設定を読み込みます。

**MEMO**

ダイアログの位置は、Adobe Photoshop終了時の位置によっては初期設定に戻る場合があります。

3

## ■ アクション登録

HDExLiteAuto ダイアログ上のボタンではアクション登録を行うことはできません。アクション登録を行う場合は、HDExLiteDumper 上のボタンで行ってください。

HDExLiteDumper は、Adobe Photoshop の「ファイル」メニューから「書き出し」→「HDExLiteDumper...」を選択して起動します。

# 3-2 HDExLiteDumper

HDExLiteDumper を使用すると、プラグインの動作をアクション登録することができます。

## ■ 各ボタン / チェックボックスの機能

図 5　HDExLiteDumper ダイアログ

▼ OUT1（HDExLiteDumper のみの機能）

OUT1 に RGB チャンネルの映像を表示します。
セルフキーが On の場合は、アルファチャンネルをキーとした、レイヤーと入力映像との合成映像を出力します。

▼ OUT2（HDExLiteDumper のみの機能）

OUT2 に RGB チャンネルの映像を表示します。

セルフキーがOnの場合でも、OUT2からは合成映像を出力することはできません。

▼ アルファ出力

OUT1 に RGB チャンネルの映像、OUT2 にアルファチャンネルの映像を出力します。自分で作成したマスクを出力したい場合はこのボタンを使用してください。
なお、セルフキーが On の場合は、OUT1 には、アルファチャンネルをキーとした、レイヤーと入力映像との合成映像を出力します。

▼ レイヤー更新

現在のレイヤーの Fill/Key を出力します。
HDExpressLite の OUT1 に現在選択したレイヤーの Fill を、OUT2 に同レイヤーの Key を出力します。
セルフキーが On の場合は、OUT1 には、レイヤーマスクをキーとした、レイヤーとソース映像との合成映像を出力します。

**MEMO**

テキストは入力直後にレイヤー更新をしても出力に更新しません。
入力後、一旦ツールボックスで別のツールを選択するか、command ⌘ + Enter で入力を確定した時点で更新します。

▼ セルフキー On

チェックをつけておくと、HDExpressLite の IN 端子に入力した外部映像と、現在編集中の Fill/Key との合成映像を、OUT1 に出力します。

**MEMO**

外部入力と合成する場合は、HD64Controlの「基本設定ダイアログ」の「Genlock」を「入力映像にロック」または「リファレンスにロック」にしてください。なお、「リファレンスにロック」を使用する場合は、HDExpressLiteに外部同期信号(三値同期またはBlackBurst)を入力しておく必要があります。

重 要

プラグイン使用中は、HD64ControlやPhotoStageLiteHDを起動しないでください。もしそれらのアプリケーションを使用したい場合は、一度Adobe Photoshopを終了してください。

4

▼ 全画面消去

OUT1、OUT2 の映像を消去します。セルフキーが On の場合は、OUT1 には入力映像をスルー表示します。

▼ デスクトップ

OUT1 にデスクトップを表示します。

▼ ハーフキー出力

チェックをつけておくと、「デスクトップ」ボタンをクリックしたときに、OUT2 からハーフキーを出力します。

▼ 位置調整（HDExLiteDumper のみの機能）

出力映像の位置を調整します。指定したラインだけ下に移動します。

**MEMO**

位置調整は「OUT1」「OUT2」「アルファ出力」「レイヤー更新」にのみ有効です。

# 第 4 章　付録

## 4-1 エラーメッセージ

| エラーメッセージ | 対処法 |
|---|---|
| ライセンスキーが正しくありません。 | ライセンスキー（一時キー）を正しく入力していません。<br>ライセンスキー（一時キー）を入力し直してください。<br>ライセンスキー、一時キーやその入力方法に関しては、「2-3 ライセンスキーの入力」〈P.10〉を参照してください。 |
| 32bit/ チャンネルには対応していません。 | このプラグインは 32bit/ チャンネルには対応していません。<br>Adobe Photoshop の「イメージ」メニューから「モード」→「8bit/ チャンネル」または「16bit/チャンネル」を選択してください。<br>※使用可能なカラーモードは RGB のみです。 |
| 画像が大きすぎます。 | 画像のサイズが表示フォーマットの指定サイズを超えています。画像のサイズを表示フォーマットのサイズより小さくするか、HD64Control の「基本設定ダイアログ」の「表示フォーマット」を変更して、画像のサイズ以上にしてください。 |
| 画像が小さすぎます。 | 画像のサイズが小さすぎます。画像のサイズを幅 90pixel、高さ 60pixel 以上にしてください。 |
| HD64 では動作しません。 | このプラグインは HD64PCI では動作しません。<br>HDExpressLite が本体に装着されていることを確認してください。 |
| HDExpressLite が見つかりません。 | HDExpressLite が認識できません。<br>HDExpressLite を本体に正しく装着していることを確認してください。一度電源を落とし、HDExpressLite の抜き差しを行なってください。 |

4

## 4-2 トラブルシューティング

● HDExLiteAuto ダイアログが表示されない。

➡ HDExLiteAuto.plugin または HDExLiteAuto.8li を Adobe Photoshop の「プラグイン」フォルダにコピーしていますか？

⇨ HDExLiteAuto.plugin または HDExLiteAuto.8li を Adobe Photoshop の「プラグイン」フォルダにコピーしてください。

➡ HDExpressLite のソフトウェアをインストールしていますか？

⇨ HDExpressLite のソフトウェアをインストールしてください。

4

● HDExLiteAuto ダイアログのボタンが有効にならない。

➡ 有効な画像ファイルを開いていますか？

⇨ 上述の「動作が可能な Adobe Photoshop の設定項目」に従った画像ファイルを開くか、新規作成してください。

● HDExpressLite の出力が更新しない。

➡ HDExLiteDumper.plugin または HDExLiteDumper.8be を Adobe Photoshop の「プラグイン」フォルダにコピーしていますか？

⇨ HDExLiteDumper.plugin または HDExLiteDumper.8be を Adobe Photoshop の「プラグイン」フォルダにコピーしてください。

● HDExpressLite の出力信号が、SDI の基準レベル（8bit デジタル値 16 ～ 235）を超えている。

➡ HD64Control の「基本設定ダイアログ」の「カラーモード」を「高品質モード」に設定していませんか？

⇨ HD64Control の「基本設定ダイアログ」の「カラーモード」を「一般モード」に設定してください。

● ライセンスキー入力ダイアログが何度も表示する。

➡ ライセンスキー（または一時キー）を正しく入力しましたか？

⇨ ライセンスキー入力ダイアログにライセンスキーまたは一時キーを入力してください。

一時キーを使用する場合は、Adobe Photoshopを起動するたびにキーを入力しなければなりません。

➡ 制限付きユーザで使用していませんか？

⇨ 管理者権限を持つユーザで使用してください。

4

● HDExpressLite から映像が出力しない。

➡ Adobe Photoshop の使用中に HD64Control を使用しませんでしたか？

⇨ HD64Control を再起動してください。それでも改善しない場合は、HD64Control を一旦終了し、以下のファイルを削除してから、再度 HD64Control を起動してください。

Macintosh の場合
（OSのディスク）/ユーザ/（ユーザ名）/ライブラリ/Preferences/HD64Preferences
Windows の場合
（OSのディスク）\Program Files\HD64PCI\HD64Preferences.ini

その他のトラブルは「HDExpressLite/HD64PCI/HD64DX4 ユーザーズマニュアル 第 5 章 故障と思う前に」を参照してください。